

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	新郷 朋香	職名	助教	学位	助産修士 (専門職) 天使大学大学院 2009 年
----	-------	----	----	----	------------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
助産ケア、産後ケア、母性看護学	助産ケア、産後ケア、継続支援、子育て支援

研 究 課 題
助産師の妊娠期から産褥期における継続的ケアについて考察する コロナ禍での学内実習における学生の学びと実習の成果を考察する

担 当 授 業 科 目																								
<table border="0"> <tr> <td><助産別科></td> <td></td> <td><看護学科></td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅰ</td> <td>助産学研究演習</td> <td>母性看護学演習</td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅱ</td> <td>母子の心理・社会学</td> <td>ウィメンズヘルス</td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅲ</td> <td>助産学実習Ⅰ</td> <td>母性看護学実習</td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅳ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅴ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅵ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助産診断・ケア学Ⅶ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<助産別科>		<看護学科>	助産診断・ケア学Ⅰ	助産学研究演習	母性看護学演習	助産診断・ケア学Ⅱ	母子の心理・社会学	ウィメンズヘルス	助産診断・ケア学Ⅲ	助産学実習Ⅰ	母性看護学実習	助産診断・ケア学Ⅳ			助産診断・ケア学Ⅴ			助産診断・ケア学Ⅵ			助産診断・ケア学Ⅶ		
<助産別科>		<看護学科>																						
助産診断・ケア学Ⅰ	助産学研究演習	母性看護学演習																						
助産診断・ケア学Ⅱ	母子の心理・社会学	ウィメンズヘルス																						
助産診断・ケア学Ⅲ	助産学実習Ⅰ	母性看護学実習																						
助産診断・ケア学Ⅳ																								
助産診断・ケア学Ⅴ																								
助産診断・ケア学Ⅵ																								
助産診断・ケア学Ⅶ																								

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【助産診断・ケア学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ】</p> <p>科目責任者と共に、助産学生の学習状況や達成状況などを考え演習の組み立て、実践を行った。学生の知識が実際の対象者へのケアに結びつけることが出来るよう支援を行った。</p> <p>また、ロールプレイで対象者や助産師、第三者の視点に立つことが出来るよう計画し、自分のケアを振り返る機会を設けた。</p>
<p>授業科目名【 助産診断・ケア学Ⅵ・Ⅶ 】</p> <p>数名の助産学生を受け持ち、平等に学習を深めていけるよう調整を行った。教員間でも理解の共有を図り学生の理解の確認を行い、学習が深まるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【 助産学実習Ⅰ 】</p> <p>学内実習と臨地実習を組み合わせて行った。</p> <p>学内実習では、基本的な助産技術の習得や助産過程の展開を行った。また様々な場面を想定した分娩介助練習を行い、臨地実習で生かせるよう支援した。</p> <p>臨地実習では、学生の体調管理や感染予防に努め、実習施設や母児、学生の安全を最優先に配慮した。学生の個別性を考慮し、指導の方向性を他教員とも共有しながら支援した。また、臨床指導者との意見交換を行い学生の進捗状況や学びをフィードバックしより深く理解できるよう支援した。</p>
<p>授業科目名【 母性看護学演習 】</p> <p>実際に実習で活用できるよう、事例を設け看護過程の展開を行った。看護過程の展開では数十名を受け持ち、個別での時間を設け理解を深めることが出来るよう関わった。また、技術演習では、繰り返し確認できるよう動画視聴による工夫を行った。感染予防対策をしっかりと行い、技術テスト・技術練習の時間を設け、細やか</p>

な指導が行えるよう時間と場所の設定をした。
<p>授業科目名【 ウィメンズヘルス 】</p> <p>“子宮頸がんとうィメンズヘルス”のテーマで講義を行い、学生の知識の確認、病態や治療・予防における現状について説明した。</p>
<p>授業科目名【 母性看護学実習 】</p> <p>臨地実習、学内実習で行った。</p> <p>臨地実習では、感染対策で実習内容に制限があったが指導者と調整を行い多くの経験や見学ができるよう調整した。また、臨地実習で行う事が出来なかった項目については学内で技術の振り返りを行った。</p> <p>テーマカンファレンス・まとめカンファレンスを実施しディスカッションを通して母性看護への学びを深めることが出来るよう支援した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本看護協会 日本助産学会		2009年4月～現在に至る 2020年4月～現在に至る

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
なし		

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
1. 看護学科に関する業務全般（補佐） 2. 国家試験に関すること（補佐） 3. 物品管理（副） 4. クラス担任（副） 5. 業務に関すること（補佐） 6. 入学・卒業に関すること（補佐）